

最強! S級 スロッターへの道



2019年4月14(日)

差枚

-1913枚

RANK

B

実戦機種

パチスロ北斗の拳 新伝説創造、パチスロ蒼天の拳 朋友、ほか

実戦レポート

並び順のホールで、後方からの入場でも「S級」を取れるんだぞ、と前回の実戦で証明したオレにとって、その応用問題とも言えるのが今日である。入場順も30番ちよいと、ちょうど同じくらいの位置からスタート。新台の「パチスロ蒼天の拳 朋友」はもちろん気になるが...うん、やっぱり取られているね。

もうこのホールでの経験値を蓄えている打ち手も増えてきて、「全台高設定のシマ狙い」「特定末尾狙い」「いきなりバラエティから攻める」など、先客たちの動きも様々にして鋭い。彼らの第一候補から外れた空き台の中から、オレが選んだのは...「押忍! 番長A」で行こうか。過去に高設定が入ったことも多く、匂を外れた感もある今だからこそ、逆にアリなのでは?

しかし、序盤からベルや弁当、さらにはボーナスも思うように引けず、1時間も経たずに2台とも唾をつけただけで、番長Aとはお別れだ。短時間ではあるが、この間に他の機種も稼動しているわけで、おぼろげながら前述の「全台高設定」や「特定末尾」の気配が見えてきたりもする。この時点でのこういう気配はハズれることも多いが、この時点を逃すと目ぼしい台が次々に売り切れてしまうので、開始1~2時間の動きが勝負を大きく分けるといえよう。

そんな中、次にオレが選んだ台は...「パチスロ北斗の拳 新伝説創造」だ。全台狙い、特定末尾狙い、その両方を見込めるナイスな選択をしたつもりだったが、その気持ちを後押しするように、序盤から設定差のある小役が軒並み大張り切り。唯一、初当りにも出玉にも超・重要な強チェリーだけが全然出てこないが、その不遇すら吹き飛ばすほど、設定に関しては申し分ない展開なのだ。設定だけは...設定だけは期待できる...そう言い続けながら強チェリー不足のせいで通常時にハマリ、ようやく入ったARTでは単発続きで苦しむこと3時間弱、気付けば小役確率も「ちょっといいかな~」ぐらいまで落ち、全台高設定シマの可能性は限りなくゼロになっていた。どうしてだ...いつからこうなった...。続行する理由は、無い。ヤメだ。

絶望感に膝まで浸かりながら、それでも諦めず次の台を探し始めたオレは、「捨てる神あれば拾う神あり」という言葉の意味を知ることになる。このタイミングだからこそ、超大ハマリで捨てられた蒼天の拳を見つけられたのだから。迷わず打ち始めると、早々と初当りを引く。設定示唆は...偶数先行。よし、粘れる。小役も良好。程なくして...**金トロフィー!** そして**設定5・6確定の道士まで!** ぐおお、諦めなくて良かったあ!! 結果、さらに負債を増やして終了。ひでぶ。